



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 互応化学工業株式会社

コード番号 4962 URL <http://www.goo-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池上幸一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 西川憲一

TEL 0774-46-7777

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,584	0.2	271	△32.3	279	△35.5	172	△36.1
23年3月期第2四半期	3,577	8.7	400	68.0	434	64.3	269	55.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 154百万円 (△22.9%) 23年3月期第2四半期 200百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	25.98	—
23年3月期第2四半期	40.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	12,777	10,741	83.9
23年3月期	12,627	10,717	84.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 10,723百万円 23年3月期 10,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,160	1.4	500	△35.1	515	△38.2	300	△39.6	45.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	6,992,000 株	23年3月期	6,992,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	360,544 株	23年3月期	360,544 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	6,631,456 株	23年3月期2Q	6,631,456 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により原材料の供給が不足し価格が高騰する等、製造業界に大きな影響を受けました。復興に伴い生産活動は回復してまいりましたが、個人消費や公共投資は低迷状態が続いております。また、円高が長期化する可能性もあり、輸出産業においては大打撃を受けております。一方世界経済は、最大需要国の米国市場の景気回復の遅れ、さらにはギリシャなど欧州債務問題によって変動しております。また、内需拡大が進む中国、インド等の新興国も世界経済を大きく牽引するまでには至っていない状況であります。

このような背景のもと、当社グループにおきましては、原材料価格の上昇と円高の進行により、輸出分野を中心に大きく影響を受けました。しかし、顧客第一主義に徹して原材料の確保と製品の安定供給に全力を挙げるとともに、進行する円高については海外生産拠点を活用しコストダウンを図ってまいりました。さらに国内向けに高付加価値製品の開発と、新規分野の開拓に努力してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,584百万円（前年同期比0.2%増）となりました。営業利益は271百万円（同32.3%減）、経常利益は279百万円（同35.5%減）、四半期純利益172百万円（同36.1%減）の減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(反応系製品)

反応系製品の中で合繊織物業界は、前期に引き続き細番手を中心とした高機能性織物が、北陸市場をはじめ、中国や韓国におきましても好調に推移いたしました。その中で当社グループは、これらに対応した糊剤・油剤の需要が増加いたしました。また、円高対策も含めインドネシアの生産拠点を活用し、売上高の確保に努力してまいりました。

化粧品業界につきましては、震災の影響を受け個人消費が低迷する厳しい状況が続いております。その中で当社グループは、ヘアセット剤やコンディショナー用の機能性ポリマーの開発と、海外での積極的な営業展開によって売上高の確保に努めてまいりました。

製紙・印刷関連業界につきましては、震災の影響を受け出版・パッケージ関連を中心に需要が減少いたしました。ダイレクトメール用圧着ハガキは徐々に回復してまいりました。その中で当社グループは、新規顧客の獲得と、スクリーン印刷技術による太陽電池関連分野や、その他新規分野の開拓に注力してまいりました。

その他工業用につきましては、水溶性ポリエステル樹脂が、環境にやさしい樹脂として包装材料、光学用フィルム、繊維加工剤等様々な分野に展開を図ってまいりました。また、インドや中国、韓国などへも拡販に努めてまいりましたが、フィルム業界の不調の影響を受けました。この他、メッキ用添加剤や焼成樹脂などの新規分野にも積極的に挑戦してまいりました。

その結果、当セグメントの売上高は2,935百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は450百万円（同13.9%減）となりました。

(混合系製品)

混合系製品につきましては、プリント配線板業界が震災の影響もあり、自動車や家電製品の販売不調により製造が激減いたしました。スマートフォンやタブレット端末等の好調な販売により回復基調となっております。その中で当社グループは、アミューズメントやLED、さらにタッチパネルなどに使用される高機能性インクの開発と、新規分野の開拓によって売上高の確保に努力してまいりました。

その結果、当セグメントの売上高は649百万円（前年同期比11.3%減）、営業損失は4百万円（前年同期は営業利益35百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は12,777百万円と前連結会計年度末に比べ、150百万円増加いたしました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ232百万円増加し8,401百万円となりました。これは、現金及び預金が34百万円増加したことや受取手形及び売掛金が50百万円増加したこと並びに原材料及び貯蔵品が45百万円増加、仕掛品が36百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ82百万円減少し4,375百万円となりました。これは、有形固定資産が45百万円減少したこと及び投資有価証券が56百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は前連結会計年度末に比べ119百万円増加し1,563百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が127百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ6百万円増加し472百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ24百万円増加し10,741百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が15百万円減少したものの、利益剰余金が39百万円増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から283百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には1,596百万円となりました。

各キャッシュ・フローの概要は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は258百万円(前年同期比14.2%減)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益273百万円(同36.7%減)に対し、売上債権の増加額43百万円(同59.5%減)及びたな卸資産の増加額104百万円(前年同期は1百万円の増加)並びに法人税等の支払額159百万円(前年同期比25.6%減)等の資金減少要因があったものの、減価償却費119百万円(同3.6%増)及び仕入債務の増加額128百万円(同32.7%増)等の資金増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は411百万円(同8.2%増)となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入2,326百万円(同19.5%減)に対し、定期預金の預入による支出2,645百万円(同18.0%減)や有形固定資産の取得による支出89百万円(同114.2%増)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は131百万円(同0.3%増)となりました。これは、配当金の支払額131百万円(同0.3%増)によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループにおきましては、第3四半期以降も徹底した経費の節減と生産の合理化を続ける計画であります。利益は原材料価格や円高の影響等により前回発表数値から減少する見込みであります。

これらのことと、当第2四半期の結果を踏まえ、通期の業績予想を下記のとおり修正いたしました。

なお、平成23年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想との差異は以下のとおりです。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,160	675	715	410	61.83
今回修正予想(B)	7,160	500	515	300	45.24
増減額(B-A)	—	△175	△200	△110	—
増減率(%)	—	△25.9	△28.0	△26.8	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	7,061	770	834	497	75.06

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,117,011	5,151,860
受取手形及び売掛金	1,843,478	1,894,083
商品及び製品	505,222	526,347
仕掛品	201,959	238,895
原材料及び貯蔵品	402,760	448,557
繰延税金資産	73,305	95,921
その他	25,832	46,427
貸倒引当金	△387	△271
流動資産合計	8,169,183	8,401,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,723,804	3,727,918
減価償却累計額	△2,767,108	△2,804,592
建物及び構築物(純額)	956,696	923,326
機械装置及び運搬具	5,680,884	5,830,614
減価償却累計額	△5,373,741	△5,415,936
機械装置及び運搬具(純額)	307,143	414,678
工具、器具及び備品	856,282	856,934
減価償却累計額	△821,501	△828,067
工具、器具及び備品(純額)	34,780	28,867
土地	2,097,295	2,097,295
建設仮勘定	130,200	16,159
有形固定資産合計	3,526,115	3,480,327
無形固定資産		
のれん	621	497
その他	56,423	53,937
無形固定資産合計	57,044	54,434
投資その他の資産		
投資有価証券	843,810	786,811
従業員に対する長期貸付金	1,362	1,278
繰延税金資産	15,875	41,221
その他	23,906	21,704
貸倒引当金	△9,899	△9,876
投資その他の資産合計	875,055	841,138
固定資産合計	4,458,215	4,375,900
資産合計	12,627,398	12,777,722

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	978,382	1,105,859
未払金	121,111	100,462
未払費用	10,334	2,922
未払法人税等	166,343	135,030
賞与引当金	111,058	172,055
役員賞与引当金	14,500	7,000
その他	42,061	40,051
流動負債合計	1,443,790	1,563,382
固定負債		
退職給付引当金	341,235	342,593
役員退職慰労引当金	124,788	130,108
固定負債合計	466,024	472,702
負債合計	1,909,815	2,036,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	9,480,003	9,519,663
自己株式	△268,187	△268,187
株主資本合計	10,881,806	10,921,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,367	39,919
為替換算調整勘定	△237,153	△237,455
その他の包括利益累計額合計	△181,786	△197,536
少数株主持分	17,563	17,707
純資産合計	10,717,583	10,741,637
負債純資産合計	12,627,398	12,777,722

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,577,190	3,584,595
売上原価	2,362,126	2,471,360
売上総利益	1,215,063	1,113,234
販売費及び一般管理費	814,569	842,172
営業利益	400,494	271,062
営業外収益		
受取利息	4,918	4,330
受取配当金	2,292	2,568
持分法による投資利益	34,838	13,758
貸倒引当金戻入額	—	113
受取ロイヤリティー	17,246	6,582
雑収入	6,767	4,370
営業外収益合計	66,063	31,724
営業外費用		
売上割引	3,763	3,487
為替差損	25,449	16,057
貸倒引当金繰入額	2,991	—
支払補償費	—	3,200
その他	243	44
営業外費用合計	32,447	22,790
経常利益	434,110	279,996
特別利益		
固定資産売却益	945	—
貸倒引当金戻入額	3,315	—
特別利益合計	4,260	—
特別損失		
固定資産除却損	937	1,562
持分変動損失	5,894	5,107
特別損失合計	6,832	6,669
税金等調整前四半期純利益	431,538	273,326
法人税、住民税及び事業税	161,836	142,848
法人税等調整額	△814	△42,115
法人税等合計	161,021	100,733
少数株主損益調整前四半期純利益	270,517	172,592
少数株主利益	775	303
四半期純利益	269,741	172,289
少数株主利益	775	303
少数株主損益調整前四半期純利益	270,517	172,592

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△31,266	△15,448
為替換算調整勘定	△13,001	△2,897
持分法適用会社に対する持分相当額	△25,395	626
その他の包括利益合計	△69,663	△17,718
四半期包括利益	200,853	154,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,793	154,730
少数株主に係る四半期包括利益	60	143

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	431,538	273,326
減価償却費	115,820	119,996
のれん償却額	124	124
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△707	△255
賞与引当金の増減額 (△は減少)	58,334	60,997
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,890	5,319
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,000	△7,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,911	1,401
受取利息及び受取配当金	△7,210	△6,898
為替差損益 (△は益)	1,862	△502
持分法による投資損益 (△は益)	△34,838	△13,758
持分変動損益 (△は益)	5,894	5,107
有形固定資産売却損益 (△は益)	△945	—
有形固定資産除却損	937	1,562
売上債権の増減額 (△は増加)	△107,166	△43,418
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,154	△104,571
仕入債務の増減額 (△は減少)	96,502	128,035
未払金の増減額 (△は減少)	△48,769	△16,790
未払費用の増減額 (△は減少)	△11,663	△7,325
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11,050	△23,460
その他	△12,475	△4,612
小計	458,013	366,776
利息及び配当金の受取額	57,795	51,258
法人税等の支払額	△214,030	△159,203
営業活動によるキャッシュ・フロー	301,778	258,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△41,625	△89,154
有形固定資産の売却による収入	945	—
無形固定資産の取得による支出	—	△340
投資有価証券の取得による支出	△2,820	△2,958
定期預金の預入による支出	△3,226,564	△2,645,191
定期預金の払戻による収入	2,890,000	2,326,430
貸付金の回収による収入	169	169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△379,896	△411,045
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△130,812	△131,214
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,812	△131,214
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,411	△484
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△215,341	△283,912
現金及び現金同等物の期首残高	1,600,494	1,880,581
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,385,153	1,596,669

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,845,685	731,505	3,577,190	—	3,577,190
セグメント間の内部売上高又は振替高	36,130	—	36,130	△36,130	—
計	2,881,815	731,505	3,613,320	△36,130	3,577,190
セグメント利益	523,665	35,413	559,079	△158,584	400,494

(注) 1. セグメント利益の調整額△158,584千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,935,454	649,140	3,584,595	—	3,584,595
セグメント間の内部売上高又は振替高	33,446	—	33,446	△33,446	—
計	2,968,901	649,140	3,618,041	△33,446	3,584,595
セグメント利益又はセグメント損失(△)	450,620	△4,182	446,438	△175,376	271,062

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△175,376千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。